

令和 7年度予算見積調書

課室名：社会福祉課
 担当名：援護恩給担当
 内線：3277 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業		
S32	戦没者慰霊諸費				一般会計	民生費	社会福祉費	遺家族等援護費	遺家族等援護諸費		
事業期間	昭和27年度～	根拠法令	拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律			針路分野施策	07 誰もが活躍し共に生きる社会の実現	SDGsゴール 10, 16			
							0704 人権の尊重	SDGsターゲット 10-2, 10-4, 16-1			
1 事業概要 先の大戦で戦没した本県関係戦没者の慰霊のため各種事業を実施し、戦没者遺族の心情に応えとともに、恒久平和に係る啓発事業を実施する。 ア 戦没者慰霊諸費 4,375千円 イ ほまれ会館敷地借地料 1,486千円 ウ 拉致問題等解決への啓発事業 500千円					5 事業説明 (1) 事業内容 ア及びイ 先の大戦で戦没した戦没者の慰霊のため、国、県、市町村等で実施する追悼式等の慰霊事業を実施する。(県戦没者追悼式の実施の根拠は、昭和27.4.8閣議決定による。) ウ 北朝鮮による拉致被害者問題の早期解決を促進する啓発活動等を行う。 (2) 事業計画 ア 戦没者慰霊諸費 イ 全国戦没者追悼式供花 ロ 海外慰霊巡拝等供花 ハ 県戦没者追悼式 ニ 「埼玉の塔」追悼式 イ ほまれ会館敷地借地 ロ ほまれ会館敷地借上 ウ 拉致問題解決等への啓発事業 イ 拉致問題解決への啓発活動(講演会)の実施 (3) 事業効果 ア及びイ 各種慰霊事業を実施することで、本県関係戦没者を慰霊し、平和に対する県民意識の醸成を図る。 【活動指標】 全国戦没者追悼式への参列 (1回) 県戦没者追悼式の開催 (1回) 【成果指標】 埼玉県からの全国追悼式への参列者数 60名 県戦没者追悼式の参列者数 800名 ウ 県民の拉致問題に対する関心を高め、拉致問題解決に向けた気運を醸成する。 【活動指標】 拉致問題を考える県民の集い等の講演 (2回) 【成果指標】 拉致問題にかかる啓発活動への参加者数 500名						
2 事業主体及び負担区分		ア (県10/10) イ (県10/10) ウ (県10/10)									
3 地方財政措置の状況		なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員		9,500千円×0.6人=5,700千円									
5 事業費の内訳		財源内訳									
予算額		財産収入					一般財源		前年との対比		
決定額	6,361	1,486						4,875	1,822		
前年額	4,539	1,486						3,053			

事業内訳書

事業名	戦没者慰霊諸費		
単位事業名	戦没者慰霊諸費	予算額	4,375千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	4,375	1,322	
合計	4,375	1,322	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	231	80	慰霊事業参列に係る供花 21件分
旅費	1,115	855	慰霊事業参列に係る交通費 6名分
需用費	838	193	県追悼式に係る消耗品費、しおり印刷代
役務費	208	52	県追悼式に係る郵送費、司会派遣費
委託料	1,500	158	会場設営委託、菊花壇設営委託
使用料及び賃借料	463	△16	会場使用料
負担金、補助及び交付金	20	0	慰霊事業参列に係る負担金

単位事業名	戦没者慰霊諸費	予算額	4,375千円
-------	---------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	4,375	1,322	

単位事業名	ほまれ会館敷地借地料	予算額	1,486千円
-------	------------	-----	---------

○歳入 (単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 土地建物貸付収入	1,486	0	ほまれ会館敷地
合計	1,486	0	

○歳出 (単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	1,486	0	ほまれ会館敷地
合計	1,486	0	

単位事業名	拉致問題等の早期解決に向けた啓発事業経費	予算額	500千円
-------	----------------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	500	500	
合計	500	500	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	150	150	講師報償費
旅費	60	60	パネル展実施旅費 20回
需用費	90	90	消耗品費
使用料及び賃借料	200	200	会場費 2回
合計	500	500	